

令和7年度 新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)
事業効果検証【評価結果】

事業名	実績額		外部有識者からの評価	
	事業費(円)	内:交付金	評価点(平均値)	外部有識者からの意見
「グリーン社会とくしま」の実現によるサステナブルな地域づくり推進事業 ●「GX」推進に伴う県内外への魅力発信及び県外企業・人材等の誘致・交流促進モデルの検証・横展開 県南エリアの魅力(豊かな自然、地域資源等)を活用したサステナブルなコンテンツの掘り起こし、プロモーション、体験ツアー開催、教育旅行の受入等経費(委託費、負担金、需用費、通信運搬費等)	4,520,000	2,260,000	2.8	- 商品としてはおもしろい企画もある - 商品PRにもう少し力を入れて欲しい - 県南広域観光に必要な事業 - 投資に見合う回収は？ - 金額や那賀町の認知度は上昇しているか？ - 目標があるか不明 - イベントをやったからOKに見える - 同じことの繰り返しで可能性がいまいち見えない。 - 自然を活かしたコンテンツの充実を図るべき - 今後の伸びしろに期待できる部分もある - 会が出た意見を調査し、改善・成長に繋がることを期待 - 物産品への効果が弱い - 宿泊・飲食に対する消費も少額 - 他市町と連携強化が必要 - 参加者数が少ないのが気になる - 川口ダムエネミューやおもちゃ美術館と上手に連携すると良い - 体験・体感にフォーカスしたアプローチは評価できるが、那賀町での消費に繋がっていない - 町内消費に繋がる仕組みをつくる必要がある - 木頭ゆずやケイトウ、オモトなど他地域よりリードする一次産品の利用を推進すべき - 文化庁100年フード認定の「かきませ」「はんごろし」などの商品価値の高い加工品もアイテムとして有効と考える - 体験者からのアンケートをとり試行錯誤を重ねさらなる推進を願う。 - 那賀町の魅力をもっと宣伝し、特に子どもの事業に力を入れれば人が集まると思う - 現状効果が低いのは町も知っていると思うが、売り込みたい物がなければ元も子もない現実に苦しんでいる - 民間を巻き込み、町一丸となり盛り上げていきたいと思う - 川口ダム湖周辺はまだ来町を促す仕掛けができると思う - ドイツカヌーチームが東京五輪事前合宿をしたのでSUPやカヌー体験などと組み合わせ、ドイツのビールやソーセージを食すイベントもおもしろいと思う
			(低 1 ⇒ 5 高)	

K P I	本事業における重要業績評価指標		R7目標値	R7実績値
	① 本県への年間移住者数+準移住者数		2,935人	3,360人
	うち那賀町への年間移住者数+準移住者数(参考)			15人
	② 地域でのGX推進に向けた協働活動実践企業・団体数(累計)		19企業・団体	26企業・団体
	③ 「とくしまエコパートナー」の協定締結企業・団体数(累計)		45企業・団体	23企業・団体